

令和7年度 指定管理者モニタリング票

所管課名 農林水産振興課
電話番号 0835-25-2134

1 施設の概要

施設名称	防府市水産総合交流施設
設置目的	水産業の振興及び都市と漁村との交流の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、水産総合交流施設を設置する。

2 指定管理者の概要

指定管理者	名称	山口県漁業協同組合
	代表者	代表理事組合長 森友 信
	所在地	山口県下関市大和町一丁目16番1号
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日
選定方法		非公募
(非公募の理由)		水産総合交流施設の設置目的に沿った運営体制とするため
利用料金制の有無		有

3 指定管理業務の運営状況

業務内容 (具体的に)	(1) 魚屋及び水産物の普及及び情報の提供に関すること (2) 水産物等の展示販売に関すること (3) 地域の食材を活用した飲食物の提供に関すること (4) 地域情報及び観光情報の提供に関すること (5) 道路利用者の利便性の向上に関すること (6) 防府市水産総合交流施設（以下「交流施設」という。）の使用の許可に関する業務 (7) 交流施設の使用に係る料金に関する業務 (8) 交流施設の維持管理に関する業務 (9) その他指定管理者が交流施設の管理上必要と認める業務					
組織体制	駅長 1人 指定管理部門 職員 5人 自主事業部門 職員 2人、パート8人（内直営店あまい魚屋勤務は3人、2人は加工事業兼務） 合計 16人（令和8年3月現在）					
労務環境	労働関係法令を遵守している。					
利用状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	目 標 値	700,000	700,000	750,000	750,000	800,000
	実 績 値	574,907	619,848	658,769	643,001	648,732
	分 析	物価高の影響があったものの、テナント店舗の経営努力により、来場者数は前年度より微増させることができた。				
②	目 標 値					
	実 績 値					
	分 析					

4 指定管理者の業務に係る収支状況

①指定管理業務に係る収支					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指 定 管 理 料	20,248,762	20,263,000	20,263,000	20,263,000	20,263,000
利 用 料 金	26,743,521	29,551,094	31,581,316	31,518,502	30,517,645
そ の 他 (内 訳)	7,935,290	9,849,557	11,310,999	11,356,636	10,137,291
収入計(a)	54,927,573	59,663,651	63,155,315	63,138,138	60,917,936
人 件 費	27,124,193	23,989,622	27,177,618	25,540,820	27,926,900
光 熱 水 費	12,940,026	19,384,938	18,295,073	19,441,130	18,569,748
修 繕 費	3,985,762	4,065,586	4,075,575	4,053,995	4,253,601
そ の 他 (内 訳)	8,910,022	8,659,997	9,333,409	11,899,123	12,415,001
支出計(b)	52,960,003	56,100,143	58,881,675	60,935,068	63,165,250
収支(a-b)	1,967,570	3,563,508	4,273,640	2,203,070	-2,247,314
分 析	テナントの数が減り収入が減少したことに加え、施設管理の経費が増加していることから、収支が赤字に転じることとなった。				

②自主事業に係る収支					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入計(c)	77,207,223	94,733,983	103,940,470	113,131,661	118,598,468
支出計(d)	69,503,890	88,289,331	96,489,516	104,911,452	116,564,589
収支(c-d)	7,703,333	6,444,652	7,450,954	8,220,209	2,033,879
主な内容	直営店（野菜・土産物等の販売、メバル焼きの販売）、水産加工事業（ハモの加工・販売）、新築地緑地管理委託事業収入、自販機販売手数料、氷販売収入）				

5 利用者満足度

調 査 概 要	実施方法	アンケート用紙・回収箱設置のアンケート実施
	時期	通年
	回収率	0.004%（回答数28件／入場者数648,732）
	満足度の割合	89%
対応状況	『もっと魚を増やしてほしい』、『売り子さんの挨拶掛け声がない』、『スタッフの対応が悪い』などの意見については該当店舗のみならず、他の店舗や事務局にも情報を共有し、サービスの向上の指針とした。 その他、『導線が悪い』『コンビニが欲しい』『キャッシュレス決済の導入』などが要望として散見されるが、国、県、市とともに調査・研究しなければならない今後の課題である。 商品に対する満足度は全体的に高く、今後もこの品質を維持していけるよう運営していく。	

6 評価

指定管理者による自己評価	令和7年度は、指定管理5年目として運営体制の安定化が進む一方、物価高騰やテナント空き店舗などの課題が顕在化した年であった。地域水産物の普及やブランド化、観光情報発信など、道の駅としての役割を果たしつつ、特産品販売や加工事業といった自主事業においても一定の成果を上げた。令和8年度は、テナント誘致の強化、コスト増への対応、自主事業の収益向上、地域連携の深化を重点に、さらなる賑わい創出と利用者満足度の向上を目指していく。
市の評価	販促イベント等の開催による来場者数の増加は評価したい。 ただし、テナント数が減ったことによる利用料金の減少が課題としてあるため、魚食及び水産物の普及啓発を進め、新規店舗の参入、売上額の増加に引き続き取り組んでいくこと。